

研究委員会企画

【Room 1】 13 : 40～14 : 40

やってみよう！オンラインを活用して広げる研究活動

日本国際看護学会研究委員会：

松永 早苗

桑野 紀子

マルティネス 真喜子

土谷 ちひろ

研究委員会企画

やってみよう！オンラインを活用して広げる研究活動

日本国際看護学会研究委員会：松永早苗、桑野紀子、マルティネス真喜子、土谷ちひろ

日本国際看護学会研究委員会は、学会員が看護研究における基本的および具体的知識を学び、研究実践する能力を高めることにより、日本国際看護学会における研究の質向上に寄与することを目的に活動しています。

2019年度12月ころより発生した新型コロナウイルス感染症の影響から、海外への渡航のみならず、国内において看護の対象である「人」とのつながりを主とした研究活動が困難な状況にあります。一方、人との直接的な接触を避けることができるオンラインによる教育や研究が盛んに実施されています。私たちに新たな知見を与え、看護の発展に寄与できる教育や研究活動は、感染症流行時においても継続すべき活動です。

本セッションでは、研究者2名からオンラインを活用した研究活動の実際、研究活動における倫理的配慮、オンラインにおける研究活動の今後の広がりや課題を紹介していただきます。2名の研究者は、それぞれオンラインを使用して質的研究、量的研究を実施しています。それぞれの発表の後には、発表者と参加者によるディスカッションを企画しています。参加者の皆様が、オンラインを効果的に活用して今後の研究活動に活かしてくださることを期待しています。

本セッションの最後には、研究委員から2021年度の研究委員会活動の計画を報告します。日本国際看護学会第5回学術集会に先立ち実施した会員へのアンケート調査から、2021年度研究委員会が企画する研究分科会並びに研究を推進する企画をご紹介します。皆様のご参加を、お待ちしております。

